

石川県教育委員会指定「いしかわ学びの指針12か条」研究推進校
珠洲市教育委員会指定「生きる力をはぐくむ」教育研究推進校

平成25年度（研究2年目）

学校研究リーフレット

Part II

三角形で伝えよう

言葉のスケッチ



活用力を高める

自分の考えを筋道を立てて説明できる子の育成

～ 学んだことを活用する場を意識しての授業づくり（国語科・算数科）～

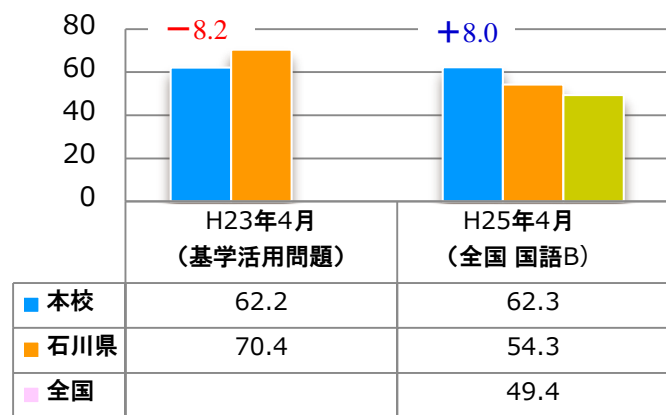
筋道を立てて説明できるためには、これまでの学習や経験から思考し、判断して、根拠を明らかにして自分の考えを表現する必要があります、その力が活用力育成につながると考えています。

珠洲市立飯田小学校

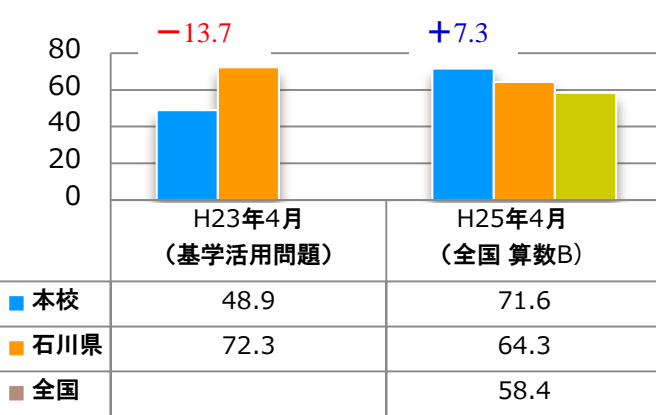
ホームページ：<http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~iidaxe/NC2/htdocs/>

単元まるごと活用

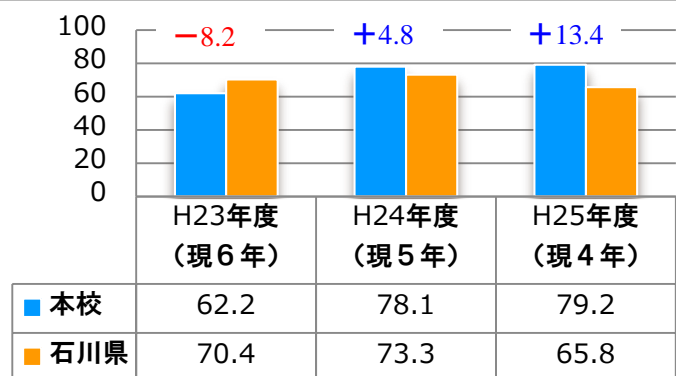
現6年生 学力調査の活用問題正答率(国語)の推移



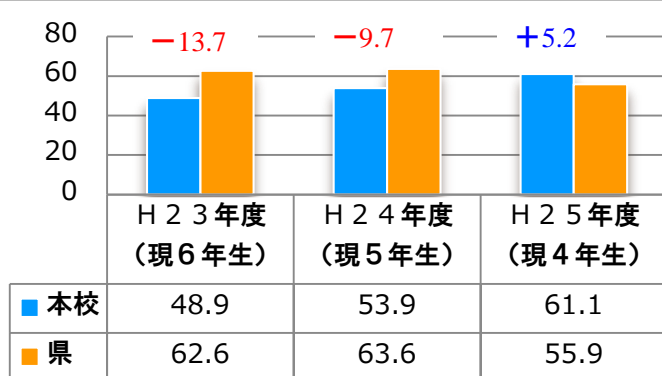
現6年生 学力調査の活用問題正答率(算数)の推移



県基礎学力調査(4年)国語 活用問題正答率経年比較



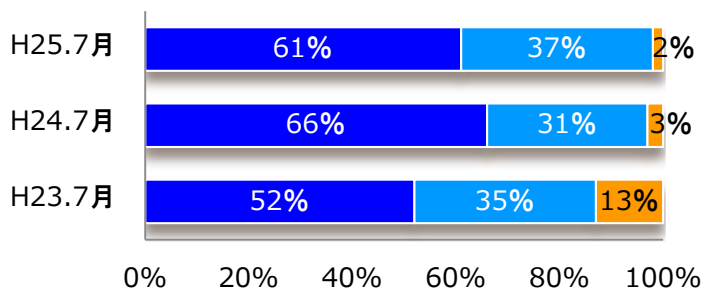
県基礎学力調査(4年)算数 活用問題正答率経年比較



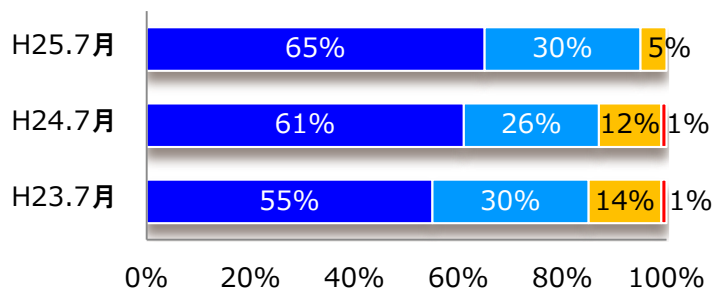
児童の意識の変化（児童アンケート結果）

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

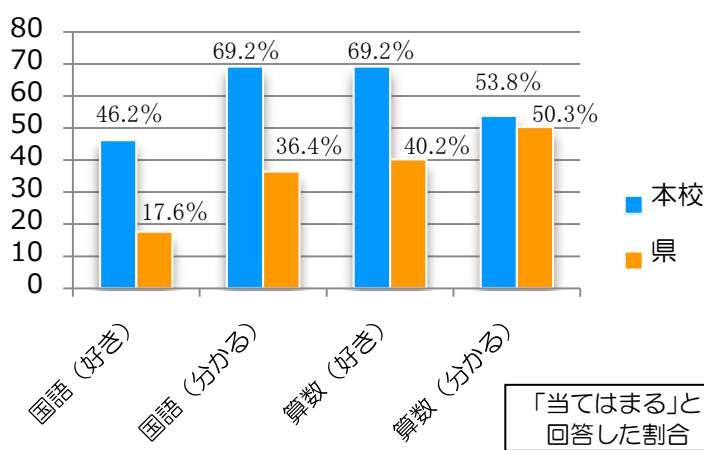
「授業の中で、根拠を入れて自分の考えをわかりやすく説明することができた。」



「友達の意見に対して、関連付けて意見を言うことができた。」



「国語/算数の勉強は好きですか。」 全国質問紙調査より
「国語/算数の授業の内容は分かりますか。」



2年目の研究から見てきたこと……

活用力を高めるために、学習を支える学習基盤と学習意欲を重視して、学校研究を進めてきた。

この2年間の主な成果としては、下記の通りである。
○ 三角ロジックの手法を取り入れる中で、キーワードを基に根拠、理由を見つけ出す思考が身についてきている。そのことにより、学力調査問題記述式の対応ができ、同時に無回答が減ったと考えられる。

○ 単元まるごと活用については、複合的に考える力（多面的に捉える）が身についてきていると考えているが、子ども達の変容をどう捉えるかが課題である。

○ 「言葉のスケッチ」によって、条件や交流時間を設けることで、語彙力、表現力がゆっくりであるが豊かになりつつあり、意図を持った表現や技法が見られるようになってきた。